

産地を応援しよう！



その食べ物、誰がどこで作ったものか、気にして選んでいますか？

食べ物を選ぶときは、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶようにしましょう。自分が応援したい地域や、被災地などの産品を選ぶことで、その地域の生産者を応援することにもつながります。

「地産地消」とは

・・・地域で生産された農林水産物を
できるだけ地域で消費しようという活動のこと

😊 消費者にとっての地産地消の主なメリット

食生活を楽しめる



持続可能な社会に貢献できる



環境負荷が少なく、地球に
やさしい暮らしができる



地産地消の取り組みは数多くおこなわれており、**農家の所得向上**や**地域の活性化**などさまざまな好影響をもたらしています。

小美玉市の取り組み

【道の駅や直売所の取り組み】

酪農が盛んな小美玉市では、そののえき そ・ら・らに隣接するヨーグルト工場があります。小美玉市の名産「おみたまヨーグルト」の生産過程を見学することができ、となりのヨーグルトハウスで商品を購入することができます。また、新鮮で豊富な地元産の野菜や果物が販売されている直売所も併設されています。

【スーパーでの販売】

地元の人へ向け、スーパーに卸すケースも増えています。地元産の野菜や果物を集めた地産地消コーナーを設置し、新鮮な生産物を購入できる身近な取り組みです。

【学校給食での活用】

小美玉市では、6月～3月の月に1回、小美玉市の認定農業者が育てた食材を使用した給食を提供しています。また、使用した食材についての説明を資料にして配布したり、電子黒板に掲示したりすることで、子どもたちが給食を通して学ぶ機会をつくっています。

日本の食料自給率

日本の食料は、約37%が国内で生産されたもの、約63%は海外からの輸入によるものです。これは、諸外国と比較すると、低い水準にあります。

主な原因は、食生活の変化と農業生産の構造的な問題です。食生活の変化により、米の消費量が減少し、肉や油脂など輸入に頼る食品の消費が増加しました。

●日本の食料自給率



出典：農林水産省「令和2年度食料自給率について（令和2年度カロリーベース）」

ご飯をひとくち食べるだけで食料自給率が上がる！



資料：農林水産省「ジュニア農林水産白書2023年版」

私たちができること

- 地元で採れた野菜や果物を買う
- 地元食材を使って料理をする
- 地元の農産物を使っているレストランや食堂で外食をする
- 直売所・マルシェで生産者と交流する
- 地産地消の情報を入手する

